

農林水産品・食品の物流に関する官民合同タスクフォース（第6回）

議事概要

1. 日時：令和7年3月10日（月）11:00～12:00
2. 場所：農林水産省 共用第1会議室（オンライン併用）
3. 出席者：別紙のとおり
4. 議事概要

○ 小林副タスクフォース長の冒頭挨拶

- ・ 農林水産省としては、いわゆる「物流の2024年問題」に対応し、農林水産品・食品の物流を確保するため、全国各地の物流問題に関する相談の受け付けや現場へのタスクフォースメンバーの派遣を通じて、具体的な改善策の実施、及び先行・優良事例の発信を行ってきた。
- ・ 物流2024年問題は、年々深刻化していく構造的な問題であるため、2025年以降も取組を継続していただくのみならず、一層進めていくことが必要である。引き続き、皆様の御協力をお願いしたい。
- ・ 農林水産省も含めた政府は、荷主・物流事業者に荷待ち・荷役時間の削減など物流効率化のための取組を義務付ける改正物流効率化法の施行に向け準備を進めているところ。直近では、荷主向け説明会をオンラインで開催し、団体・事業者から約4,000名に参加いただいた。今後も、改正物流効率化法をより周知し、荷主の皆様のご理解増進と物流効率化に向けた機運をより一層高めることが重要であり、地方農政局等の管轄地域ごとの荷主向けの説明会を開催するなど、施行に向け丁寧に進めていく。
- ・ 本日は、2025年度からの物流効率化法に対応するため、荷主の努力義務、判断基準を中心に説明し、そして、荷主を所管する賛助メンバーから各団体の方針・取組について御発表いただく。是非、この機会に御発表いただく賛助メンバーの取組を参考にして、物流効率化について検討・推進していただきたい。

（1）各農政局等からのタスクフォース活動報告

- ・ 事務局から概要のみ紹介
 1. 北海道農政事務所：JA等へのアンケート調査結果や5つの行政機関が連携した取組
 2. 東北農政局：トラック長距離輸送から、JR貨物や中継輸送へのシフト
 3. 関東農政局：集荷場の集約や積み込み時間の前倒し等により遠隔地輸送への対応
 4. 北陸農政局：情報電子化による業務効率化、卸売業者同士の業務資本提携
 5. 東海農政局：東海地域の立地による中距離・近距離輸送に関する課題
 6. 近畿農政局：輸送日数の延長、品質の悪化等は発生していないものの、運賃要請に対応する工夫
 7. 中国四国農政局：パレット導入等による拘束時間削減の取組
 8. 九州農政局：レンタルパレットの活用や集荷場の集約
 9. 沖縄事務局：花の県外出荷による新たな輸送ルートの開拓

（2）事務局報告（新物効法の施行）

- ・ 資料に沿って説明
- ・ 重量算定方法等が次の議事で各団体から報告されるので、事業者は参考にしてほしい。

（3）各業界での新物効法への対応方針について

① 全国農業協同組合連合会

- ・ 自主行動計画を令和5年12月に制定し、これまで物流改善を進めてきた。この自主行動計画の内容から抜粋し、本資料を作成している。

- ・ 資料に沿って説明

② ホクレン農業組合連合会

- ・ 物流事業者や各 JA の御理解のもと、今年度は輸送力を確保できたと考えている。一方で、台風等の影響による代替輸送へ切り替えについては、肌感覚ではあるが、難しくなってきていると感じている。
- ・ 新物効法については、一昨年作成した自主行動計画の取組に加え、より詳しい時間計測が求められることになる。時間計測は、改善に繋げていくことが目的である。今年度も時間計測した中で、時間がかかっている部分については、取組を行い、物流改善に取り組んだ。
- ・ また、物流会社に定期的にアンケートをとり、物流改善のために声を聞くようにしている。
- ・ 今回の新物効法の施行に向けて、判断基準に基づき、継続して物流改善に取り組んでいきたい。

③ 一般社団法人全国木材組合連合会

- ・ 資料に沿って説明

④ 一般社団法人大日本水産会

- ・ 当会は、漁業者や養殖業者、水産加工業者、卸売業者、仲卸業者、物流業者、加工流通業者、小売業者、関連業者など、約 570 の会員団体が構成されている。荷主団体ではなく、荷主団体を抱える業界団体として、今回は説明させていただく。
- ・ 水産物流については、活魚、鮮魚、チルド、冷凍品など様々な形態がある。今回の資料は、全国漁業協同組合連合会、一般社団法人全国海水養魚協会、一般社団法人全国水産卸協会、一般社団法人日本冷蔵倉庫協会などに話を聞いてまとめた。
- ・ 生産業者団体は、物流の問題について認識しており、政府の物流関係の会議などについて、会員に周知しているが、末端の事業者まで情報が行き届いておらず、また各現場から物流の課題等についての報告はあがってきていない。
- ・ ハブとしての役割を持つ活魚センターを設けるなどの取組も見られるが、物流の課題については、事業者の個別の対応に任せているというのが現状である。
- ・ 資料に沿って説明

（４）質疑応答

（一般社団法人全国中央市場青果卸売協会）

- ・ 昨年の第 3 回タスクフォースでもお願いしたが、標準パレットと異なるサイズの専用パレットが増加して、その管理・回収等に係る卸の負担が大変重くなっている。
- ・ 今回の各農政局等からの報告書の中でも、東北農政局から、全農あおもりでは、りんご、長いも、ごぼうについて、当面、標準パレットと異なるサイズのパレットの導入を進めるとの記載があった。また、全農からは、標準パレットを基準にパレット化を推進するものの、既に 11 型以外が普及している品目・地域は、当面、従前のパレット化を優先する方針との説明があったところ。

私共としては、一旦、標準以外のパレットを導入して、定着後標準パレットに移行するのは非常にハードルが高いことから、まずは、パレット化は標準パレットからスタートするようご指導願いたい。また、標準型以外のパレットが既に導入されている品目については、関東農政局からもご提案されているように、規格の簡素化等とセットで、今後の施設の改修のタイミング等を逃さずに標準型に集約していくよう、対象品目を絞って産地、行政等関係者に働きかけていくことを考えておりますので、ご対応・ご協力願いたい。

（５）議論の取りまとめ

- ・ 新物効法については、規制的措置への対応も重要であるが、さらに大事なことは、関係者全員が同じ方向を向いて、物流効率化に取り組んでいくことである。全ての荷主・物流事業者に努力義務がかかったことで、個社だけで対応できない課題についても、取引先や関係者の協力を得て、改善のための取組を進めることができると考えている。関係者の間の円滑な協力を促進していきたい。また、引き続き皆様の御協力をお願いしたい。

(以上)

第6回 農林水産品・食品の物流に関する
官民合同タスクフォース出席者名簿

【TF 長】

【敬称略】

氏名	役職名	出席状況
宮浦 浩司	大臣官房総括審議官（新事業・食品産業）	○

【副TF 長】

【敬称略】

氏名	役職名	出席状況
小林 大樹	大臣官房新事業・食品産業部長	○

【メンバー】

【順不同・敬称略】

氏名	役職名	出席状況
高山 成年	大臣官房輸出促進審議官（兼輸出・国際局） （代理出席：輸出支援課長 望月 光顕）	○
佐藤 紳	大臣官房生産振興審議官（兼農産局）	オンライン
坂田 進	大臣官房審議官（兼消費・安全局） （代理出席：消費・安全局総務課長 尾崎 道）	オンライン
関村 静雄	大臣官房審議官（兼畜産局） （代理出席：畜産局総務課調査官 大竹 匡巳）	オンライン
勝野 美江	大臣官房審議官（兼経営局）	○
山本 泰司	大臣官房審議官（兼農村振興局）	○
山口 潤一郎	農産局農産政策部長	欠席
東野 昭浩	農林水産技術会議事務局研究総務官	○
清水 浩太郎	林野庁林政部長	○
河南 健	水産庁漁政部長	○
原 孝文	東北農政局次長	オンライン
谷 睦枝	関東農政局次長	オンライン
郡 健次	北陸農政局次長	オンライン
福井 逸人	東海農政局次長	オンライン
犬飼 史郎	近畿農政局次長	オンライン
古賀 徹	中国四国農政局次長	オンライン
吉永 宏喜	九州農政局次長 （代理出席：経営・事業支援部長 野島 昌浩）	オンライン
坂本 里美	北海道農政事務所次長	オンライン
池田 篤志	内閣府沖縄総合事務局農林水産部総務調整官	オンライン
高橋 清也	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門所長	オンライン

【賛助メンバー】

【順不同・敬称略】

氏名	役職名	出席状況
藤原 敏彦	全国農業協同組合連合会 経営企画部 次長	○
湊 興令	ホクレン農業協同組合連合会 物流部長	○
出田 安利	一般社団法人全国中央市場青果卸売協会 専務理事	オンライン
大角 亨	一般財団法人食品産業センター 専務理事 (代理出席：企画・渉外部 次長 佐藤 禎朗)	○
時岡 肯平	一般社団法人日本加工食品卸協会 専務理事	欠席
江口 法生	一般社団法人日本スーパーマーケット協会 専務理事	欠席
田口 護	一般社団法人全国木材組合連合会 常務理事 (代理出席：常務理事 中村 道人)	○
平井 克則	一般社団法人大日本水産会 理事 兼 漁政部長	○
金子 貴史	公益社団法人全日本トラック協会 企画部長	○
麦谷 泰秀	日本貨物鉄道株式会社 執行役員・鉄道ロジスティクス本部営業統括営業部長 (代理出席：営業部副部長 近藤 崇)	○
浅沼 卓	一般社団法人日本旅客船協会 常務理事	オンライン
畠山 博文	一般社団法人日本長距離フェリー協会 常務理事	オンライン
畑本 郁彦	日本内航海運組合総連合会 企画調査部 部長	オンライン

【事務局】

氏名	役職名	出席状況
藏谷 恵大	大臣官房新事業・食品産業部食品流通課長	○
丸田 聡	大臣官房新事業・食品産業部食品流通課 物流生産性向上推進室長	○